

真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子
かかわりを求める子
納得を求める子



平成30年9月25日発行 No.8

備えあれば

10月のこよみ

校長 武田 昌彦

7月の豪雨では四国・中国地方の方々が、9月6日の北海道胆振東部地震では北海道の方々が被災され、たくさんの命と、財産が奪われました。生活にも大きな影響があり、今もその影が残っています。豪雨の後の猛暑、さらに台風の影響もあり、被災された方々が元の生活に戻るには大変な時間と労力がかかることと推察されます。北海道では地震とそれに伴う土砂崩れ、厚岸でも停電による被害がありました。災害に見舞われた方々には心からお見舞い申し上げます。

私の従兄弟が仙台に勤務していたとき、東日本大震災に遭い、大変な被害を受けました。すぐに北海道勤務が命じられ、北海道に異動しました。避難させていただいたと言うことですね。災害に遭った被災者として、その生々しさを聞かされ、テレビでは伝わらない大変さでした。「生きているだけでいい」「生きていればやり直せる」と全てを失い、明日の生活も見通せない中、自分に言い聞かせていたそうです。

9月1日は防災の日です。本校では例年この日の近く（今年は8月31日）に訓練を行っています。過去の災害の記憶が薄れない内に訓練をし、「絶対に生きる」という気持ちを忘れず、年4回行っています。厚岸では沿岸部の街があり津波の災害も忘れてはいけません。この訓練が無駄になることを願いつつ、毎年少しずつレベルアップするよう工夫しています。ぜひ、ご家庭でも避難する時に持って行く物（防災袋）などを決め、災害について話し合っただければと思います。また、交通事故に対しても「この行動が次にどういう結果になるか」想像できると事故防止にもつながります。「もし万が一」「ひょっとしたら」と想像することも心の備えとなります。心構えという言葉がまさにそれです。昔から「備えあれば憂いなし」とも言います。心の備えもよろしく願います。

最後になりましたが、避難訓練に協力していただいたPTAのお母様方、関係機関の方々、ありがとうございました。

通学以外にも自転車に乗るときはぜひヘルメットの着用をお願いします。北海道の条例で決まっています。努力義務ですが、努力義務とは罰則のない義務です。命を守るためにもぜひヘルメット着用をお願いします。

大規模停電から・・・

今月初旬に地震に伴い全道全域で大規模停電となったことは、まだ記憶に新しいのではないのでしょうか。厚真発電所の全面復旧まではまだ時間がかかるようですが、改めて電気のありがたみを感じていることです。停電に伴い2日間の臨時休校としましたが、停電後連絡が送れなくなってしまいました。大変申し訳ございませんでした。停電の影響により電話もメールも使えない状態になってしまったため防災無線だけが頼りとなってしまいました。2度のこのような災害が発生しないことを願っていますが、もしも今後同じような災害に見舞われ通信網が遮断されたときには、今回同様に防災無線で学校の対応についての情報を流します。ただし家庭に備え付けの受信機に乾電池が入っていないと停電時に音が出ませんので定期的にご確認をお願いします。なお今回は通信そのものが途絶えてしまったので、電話もメールも無力でした。しかし今後も暴風雨や暴風雪、地震、津波等による緊急の対応については電話やメールで連絡させていただきます。電話だと連絡が回り切るまで時間がかかります。つながらない場合は情報そのものをお伝えできません。決して強制ではないのですが、メールだと瞬時にしかも確実に連絡が回りますので、急を要する場合は便利かと思えます。未登録の方は学校にご連絡いただければ（4月にお渡ししたものと同一）登録方法の説明書をお渡ししますのでご検討いただければありがたいです。

日	曜	行事
1	月	
2	火	北方領土学習(6年) 絵本箱読み聞かせ
3	水	運動の日
4	木	
5	金	特別日課 クラブ④
6	土	
7	日	
8	月	体育の日
9	火	学習発表会特別時間割開始 朝会(講話)
10	水	就学児知能検査
11	木	
12	金	特別日課 係活動①
13	土	土曜授業
14	日	
15	月	
16	火	特別日課
17	水	
18	木	
19	金	特別日課 係活動②
20	土	
21	日	開校記念日
22	月	
23	火	特別日課 係活動③
24	水	総練習(児童公開日)
25	木	
26	金	特別日課 係活動④
27	土	
28	日	学習発表会(一般公開日)
29	月	振替休業日 自転車終了
30	火	秋の読書週間(~11/8)
31	水	QU実施(~11/1)

津波想定によるコンキリエへの避難訓練

8月31日に津波を想定した避難訓練を実施しました。避難訓練の前にまずシェイクアウトに参加しました。シェイクアウトとは、2008年にアメリカ合衆国で始まった地震防災訓練のことです。2012年に日本で初めてのシェイクアウトが企画・実行されて、約2万5000人の参加から始まりましたが、わずか5年であっという間に広まり、昨年は660万人を超える全国的な取組となってきています。シェイクアウトのやり方は、「DROP!(まず低く!)」、「COVER!(頭を守り!)」、「HOLD ON!(動かない!)」の三つです。



その後、地震に伴い津波が発生したとの想定の下、コンキリエまで避難をしました。1分1秒でも早くたどり着けるように歩かず走ることを目標にしました。頂上までノンストップで駆け上がると日ごろ運動不足の大人には相当きつい坂道でしたが、子供たちはみな真剣に取り組み頂上まで達することができました。役場職員の方や厚岸消防署の方からも講評をいただきました。横断歩道通過の際の安全確認をお手伝いいただいた保護者の方1名にも代表してお話しいただきました。「町ぐるみで子供たちの安全に関わっている雰囲気を感じ、ありがたい」という趣旨のお話しをいただきました。

今月6日には北海道胆振東部地震が発生し、北海道ではかつて経験したことのない震度7の揺れを観測したばかりです。政府の地震調査委では、北海道の太平洋側で大津波を伴う地震が平均340～380年間隔で起きていると推定しています。しかも北海道東部沖の千島海溝沿いで、東日本大震災に匹敵するマグニチュード9級の超巨大地震の発生が「切迫している可能性が高い」という調査結果を発表しています。巨大津波発生直近は約400年前で、4キロ以上内陸まで津波が浸入した痕跡があるといわれています。つまりいつ起きてもおかしくないと考え、日頃から迅速に避難できるように訓練しておくことは非常に重要なことです。東日本大震災の映像を何度も繰り返し見てきた私たちは、その恐ろしさを十分理解しています。子供たちの尊い命を守るため今後も引き続き安全教育・安全対策を進めてまいります。

全国学力・学習状況調査の分析結果について

今年度4月に6年生で実施した全国学力・学習状況調査の本校の分析結果を別紙に配布しました。本校の学力についての傾向と今後の対策についてまとめてあります。ぜひご参照ください。

10月のおすすめ本

担当：学校司書 小島郁子

『北加伊道』松浦武四郎のエゾ地探検

文・型染版画 関屋敏隆(ポプラ社)

今年、私たちの住むこの北の大地が、「北海道」と命名されて150年目の記念の年です。その「北海道」の名付け親とも言われているのが、松浦武四郎です。武四郎は北の大地をくまなく歩き、自然と、そこに生きる人々の暮らしを詳細に記録し、多くの著書を残した幕末の探検家です。



この本は、未開の土地であったエゾ地を6度に渡り訪れて、アイヌ語を覚え、アイヌと寝食をともにして、歩きに歩いた武四郎の苦難の旅を描いた本です。型染め版画で描かれた北海道の自然、アイヌの暮らしが、当時のエゾ地の様子を生き生きと伝えてくれます。

タイトルにもなっている「北加伊道」の「加伊」は、この国(大地)に生まれたもの、アイヌの人たちのこと。北のアイヌの国という意味になるのだそうです。アイヌの人々と親交の深かった武四郎ならではの命名です。他にも五つの名前の案があったとのこと。そんな北海道の豆知識もたくさん詰まった絵本です。ぜひ、お子さんと一緒に、自分たちが住み暮らす北海道の歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか?学校図書室と厚岸情報館に所蔵があります。

卒業アルバムについて

保護者の皆様に卒業アルバムについてご承知おきいただきたいことがあります。

昨年度から、少年団の写真の卒業アルバムへの掲載を取りやめました。①少年団は学校の教育活動ではないこと、②単独でチームを組まず他校との合同チームとなった少年団が増えたこと、③卒業生全員が載るわけではないこと、が理由です。特に昨年から少年団の写真掲載をカットしたことから昨年度の卒業生への不公平感が出ないように、今後同様の措置をとらせていただきます。誠に勝手に恐縮ではありますが、事情をくんでいただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。